

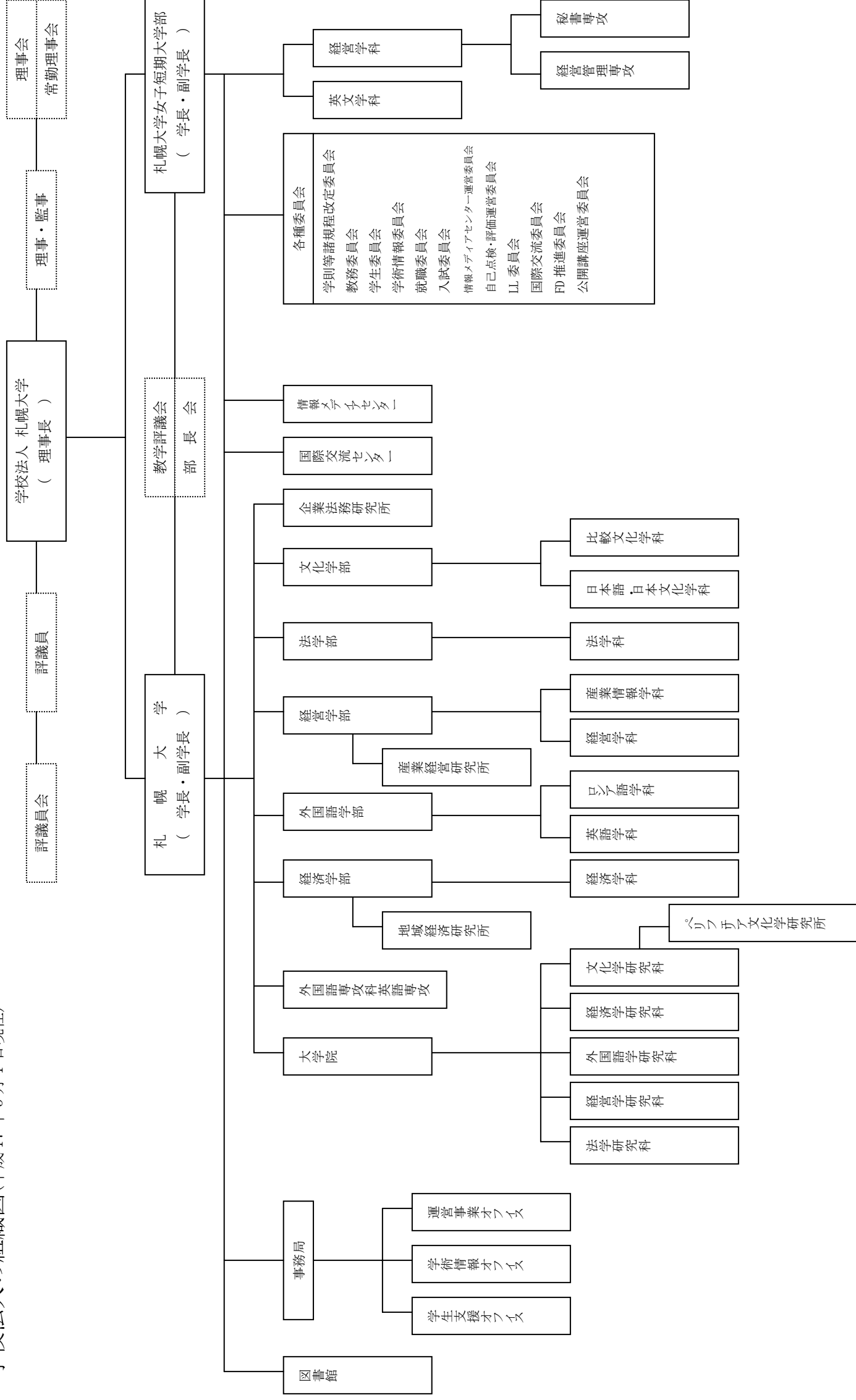
平成 17 年度

事 業 報 告 書

学校法人 札 幌 大 学

1 法人・教学組織

(1) 学校法人の組織図(平成17年5月1日現在)



2 財務関係事項

(1) 校地・校舎

校地面積一覧

大学・短大共用

区 分	面 積(m ²)
校舎敷地	75,274.000
体育館敷地	8,486.000
クラブ棟敷地	2,644.000
食堂棟敷地	1,442.000
校舎敷地 計	87,846.000
運動場敷地	86,195.480
緑 地	31,002.050
小 計	205,043.530
教職員住宅跡地	11,679.800
合 計	216,723.330

校舎等面積一覧

校舎

建物区分	合 計	大 学 専 用	短大専用	共 用	種 類
1号館	9,103.070	3,088.500 (878.5)	567.000	5,447.570	校舎
2号館	10,088.500	4,314.750	715.000	5,058.750	校舎
3号館	2,636.490			2,636.490	校舎
5号館	1,599.000	908.540	27.000	663.460	校舎
6号館	9,522.500	3,695.200		5,827.300	校舎
中央棟	11,864.380	3,640.000	644.000	7,580.380	校舎
図書館	7,525.170			7,525.170	図書館
第一体育館	2,617.180			2,617.180	体育館
第二体育館	2,280.790			2,280.790	体育館
食堂(第一)	1,525.200			1,525.200	食堂
大学会館	1,902.010			1,902.010	食堂
部室倉庫	616.740			616.740	クラブ室
サークル会館	4,018.240			4,018.240	校舎
倉庫棟	400.000			400.000	ボイラ室
弓道場	163.660			163.660	弓道場
セミナーハウス	823.370			823.370	寄宿舍
校舎 計	66,686.300	15,646.990	1,953.000	49,086.310	

その他の敷地

計	A校宅跡地	B校宅跡地	C校宅跡地	D校宅跡地	空 宅 地
11,679.800	2,640.040	1,619.170	2,781.890	4,284.110	354.590

第5駐車場	14,211.06 m ²	(平成12年から平成21年の間借用)	2,625,000 円/月
-------	--------------------------	--------------------	---------------

(2) 平成17年度決算及び平成18年度予算

学校法人札幌大学の平成17年度決算及び平成18年度予算が理事会で承認されました。その概要は次のとおりです。

平成17年度決算について

<貸借対照表>

平成17年度末における貸借対照表は、別表1のとおりです。

資産の部は、269億8,805万円で、前年度末より5億902万円の増加、率にして1.9%の増となりました。

負債の部は、35億1,831万円で、前年度末より2億8,311万円の減少、率にして7.5%の減となりました。

基本金の部は、208億1,103万円で、前年度末より2億6,319万円の減少、率にして1.2%の減となりました。

消費収支差額の部は、26億5,871万円の消費収入超過となり、前年度末より10億5,532万円収入超過となりました。

<消費収支計算書>

消費収支計算書は、別表2のとおりです。

帰属収入(学校法人に帰属する収入で負債とならない収入)は、66億2,142万円で、予算と比べて1億4,465万円の増収となりました。

基本金の部は、0万円で、予算と比べて4億2,198万円増加しました。

帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入(消費支出に充当し得る収入)の部合計は、66億2,142万円で、予算と比べて5億6,663万円増加しました。

一方、消費支出(大学が目的とする教育・研究活動を行うために必要な費用)は、58億2,929万円で、予算と比べて8,990万円減少しました。

その結果、当年度の消費収支差額は、7億9,213万円の消費収入超過となりました。

<資金収支計算書>

資金収支計算書は、別表3のとおりです。

収入の部は、前年度繰越支払資金113億3,146万円を加え、185億1,639万円となり、予算と比べて5億9,419万円増加しました。

これにより、支出の部における次年度繰越支払資金は、45億4,937万円で、予算と比べて2億2,784万円増加しました。

平成18年度予算について

ここ数年、私学を取り巻く環境は大きく変化している。規制緩和による大学設置基準の弾力化、大学設置要件の緩和、学校法人制度の改革（私立学校法や学校法人会計基準の一部改正など）等その改革のペースは加速している。

その一方では、少子化による18歳人口の減少に加え、国立大学の法人化により、大学間の競争はますます激化している。

本学が今後とも健全な発展を遂げ、高等教育の担い手として社会の要請に応えていくためには、財政基盤の安定が必要である。このためには、入学定員の確保が不可欠であり、入学志願者が減少する中、定員確保に向けた全学的対応が必要である。

本年度は、法学部に自治行政学科を増設、産業情報学科はビジネスコミュニケーション学科に学科名を変更するなどの学科構想が実現するが、変化する教育ニーズに対応するには、「第三次基本計画」を踏まえながら、教育改革の見直しや新たな学部発展総合計画を推進する必要がある。

以上を踏まえ、平成18年度の事業計画は、全学的一元的教育体制の構築（学生プロフィールデータシステムの構築等）及び学部発展総合計画などの「第三次基本計画」の促進と管理運営機能の整備を重点施策とし、創立40周年（平成19年度）に向けて、札幌大学をアピールできる事業を推進していくものとする。

<消費収支予算書>

消費収支予算書は、別表2のとおりです。

帰属収入は、62億9,222万円で、前年度より3億2,920万円の減を計上しました。

基本金の部は、3億6,642万円で、前年度より3億6,642万円の増を計上しました。

帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入の部合計は、59億2,580万円で、前年度より6億9,562万円の減となります。

一方、消費支出は、59億1,300万円で、前年度より7,201万円の増を計上しました。

その結果、当年度の消費収支差額は、2,450万円の消費収入超過となります。

<資金収支予算書>

資金収支予算書は、別表3のとおりです。

収入の部は、前年度繰越支払資金45億4,937万円を加え、110億2,259万円で、前年度より74億9,380万円減少します。

これにより、支出の部における次年度繰越支払資金は、50億4,244万円で、前年度より4億9,307万円増加します。

別表 1

貸借対照表

資産の部		(単位：万円)		
	17年度末	16年度末	増・減()	
固定資産	2,077,713	1,489,446	588,267	
有形固定資産	1,189,299	1,207,982	18,683	
その他の固定資産	888,414	281,464	606,950	
流動資産	621,092	1,158,457	537,365	
資産の部合計	2,698,805	2,647,903	50,902	
負債の部				
固定負債	152,637	175,831	23,194	
流動負債	199,194	204,311	5,117	
負債の部合計	351,831	380,142	28,311	
基本金の部				
基本金	2,081,103	2,107,422	26,319	
消費収支差額の部				
消費収支差額	265,871	160,339	105,532	
負債の部・基本金及び 消費収支差額の部合計	2,698,805	2,647,903	50,902	

別表 2

消費収支計算書・予算書

(単位：万円)

		17年度決算	17年度予算比 増・減()	18年度予算	前年度決算比 増・減()
帰 属 収 入	学生生徒等納付金	561,925	44	538,639	23,286
	手数料	8,004	205	8,761	757
	寄付金	1,975	7	2,450	475
	補助金	62,340	9,770	48,720	13,620
	(内、経常費補助金)	(57,890)	(9,090)	(47,571)	(10,319)
	資産運用収入	10,547	2,621	18,056	7,509
	事業収入	3,715	31	3,582	133
	雑収入	13,636	1,787	9,014	4,622
帰属収入合計		662,142	14,465	629,222	32,920
基本金組入額合計		0	42,198	36,642	36,642
消費収入の部 合計(ア)		662,142	56,663	592,580	69,562
消 費 支 出	人件費	324,929	692	312,510	12,419
	(内、退職給与引当金繰入額)	(12,352)	(1,009)	(5,749)	(6,603)
	教育研究経費	197,325	6,972	203,966	6,641
	(内、減価償却額)	(40,971)	(50)	(38,205)	(2,766)
	管理経費	52,683	2,708	61,144	8,461
	(内、減価償却額)	(4,419)	(33)	(4,559)	(140)
	借入金等利息	5,470	2	4,571	899
	資産処分差額 〔予備費〕	2,522	0	2,939	417
消費支出の部 合計(イ)		582,929	8,990	590,130	7,201
消費収入超過額又は 消費支出超過額(ア - イ)		79,213		2,450	

別表 3

資 金 収 支 計 算 書 ・ 予 算 書

(単位：万円)

		17年度決算	17年度予算比 増・減()	18年度予算	前年度決算比 増・減()
収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	561,925	44	538,639	23,286
	手数料収入	8,004	205	8,761	757
	寄付金収入	1,750	0	2,150	400
	補助金収入	62,340	9,770	48,720	13,620
				0	0
	資産運用収入	10,547	2,621	18,056	7,509
	事業収入	3,715	31	3,582	133
	雑収入	13,636	1,787	9,014	4,622
	前受金収入	130,153	2,660	137,651	7,498
	その他の収入	79,306	52,863	22,226	57,080
	資金収入調整勘定 前年度繰越支払資金	152,883 1,133,146	5,242 0	141,477 454,937	11,406 678,209
収入の部合計	1,851,639	59,419	1,102,259	749,380	
支 出 の 部	人件費支出	328,161	1,123	317,494	10,667
	教育研究経費支出	156,353	7,021	165,761	9,408
	管理経費支出	48,643	2,291	56,586	7,943
	借入金等利息支払支出	5,470	2	4,571	899
	借入金等返済支出	19,962	0	19,962	0
	施設関係支出	11,750	89	3,299	8,451
	設備関係支出	16,876	394	17,419	543
	資産運用支出	801,699	44	0	801,699
	その他の支出 〔予備費〕	43,956	884	37,766	6,190
				5,000	5,000
	資金支出調整勘定 次年度繰越支払資金	36,168 454,937	5,709 72,784	29,843 504,244	6,325 49,307
支出の部合計	1,851,639	59,419	1,102,259	749,380	

財 産 目 録

2006(平成18)年3月31日現在

1. 資産総額	金 26,988,049,178 円
(一) 基本財産	金 13,904,688,795 円
(二) 運用財産	金 13,083,360,383 円
2. 負債総額	金 3,518,310,947 円
(一) 固定負債	金 1,526,372,651 円
(二) 流動負債	金 1,991,938,296 円
3. 正味財産	金 23,469,738,231 円

(単位:円)

摘 要		金額
資 産 の 部		
一、基本財産		13,904,688,795
1. 土地		
西岡校地	205,043.53 m ²	1,555,244,185
2. 建物		
(1) 校舎	31,737.56 m ²	3,199,956,779
(2) 中央棟	11,864.38 m ²	1,101,163,580
(3) 図書館	8,737.17 m ²	545,529,879
(4) 体育館	4,897.97 m ²	134,543,666
(5) クラブ棟	616.74 m ²	605,530
(6) サークル会館	4,018.24 m ²	418,700,362
(7) 大学会館	1,902.01 m ²	356,277,672
(8) 食堂	1,525.20 m ²	27,348,568
(9) 弓道場	163.66 m ²	26,263,130
(10) セミナーハウス	823.37 m ²	108,489,352
(11) 倉庫棟他	400.00 m ²	11,826,162
計	66,686.30 m ²	5,930,704,680
3. 図書	686,377 冊	3,713,388,397
4. 教具・校具・備品	29,628 点	430,023,772
5. 施設拡充引当特定預金		1,550,000,000
6. その他		725,327,761
二、運用財産		13,083,360,383
1. 預金・現金		4,549,367,742
2. 土地	11,679.80 m ²	38,303,116
3. 退職給与引当特定預金		490,000,000
4. その他		8,005,689,525
資産総額		26,988,049,178
負 債 の 部		
一、固定負債		1,526,372,651
(1) 日本私立学校振興・共済事業団		1,036,620,000
(2) 退職給与引当金		489,752,651
二、流動負債		1,991,938,296
(1) 短期借入金		199,620,000
(2) 前受金		1,301,526,500
(3) 未払金		355,086,341
(4) 預り金		135,705,455
負債総額		3,518,310,947
正味財産(資産総額 - 負債総額)		23,469,738,231

独立監査人の監査報告書

平成18年5月24日

学校法人 札幌大学
理事会 御中

新日本監査法人

代表社員
業務執行社員

公認会計士

後藤道博



業務執行社員

公認会計士

石若保志



当監査法人は、私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査報告を行うため、昭和51年7月13日付け文部省告示第135号に基づき、学校法人札幌大学の平成17年度（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の計算書類、すなわち、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む。）、消費収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）について監査を行った。この計算書類の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の計算書類が学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して、学校法人札幌大学の平成18年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

注記 2. 重要な会計方針の変更等に記載のとおり、学校法人会計基準の改正に伴い、基本金の会計処理が変更されている。

学校法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監 査 報 告 書

平成 18 年 5 月 17 日

学校法人札幌大学
理事長 堀 達 也 殿

監 事 山 本 廣 隆
監 事 笠 井 彦 隆

私たちは、私立学校法第 37 条第 3 項の規定に基づき、平成 17 年度（平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日）における学校法人札幌大学の業務及び財産の状況について、各種資料の確認と各業務責任者からの状況聴取によって検討するとともに、会計監査人である新日本監査法人より監査実施状況の説明を受けるなどして監査した結果、いずれも不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められませんでした。

以 上

3 主要事項

月 日	事 項
平成 17 年	
4 1	入学式（北海道厚生年金会館）
16	パソコン基礎講座（～7/9の毎週土曜日、本学）
21	札幌大学後援会外国人留学生修学援助〔生協利用券・国語辞典〕贈呈式（本学）
22	教職員懇親会・20年勤続者表彰(ルネッサンス・サッポロ・ホテル)
25	新日本監査法人による期末監査（～28、本学） 外国人留学生歓迎会（本学）
5 19	法人監事による業務監査（本学）
30	第129・130回評議員会・第147回理事会(札幌グランドホテル)
6 4	保護者懇談会（本学）
9	札幌大学校友会在学生援助金交付式 / 図書館援助金交付式
10	文連祭・体育大会（～12、本学）
25	オープンキャンパス（本学） 札幌大学後援会総会 / 札幌大学奨学金制度への援助金贈呈式（本学）
7 20	第131回評議員会・第148回理事会(札幌グランドホテル)
31	オープンキャンパス（本学）
8 8	札幌大学教友会（～9、本学）
9 10	保護者懇談会（本学）
15	新日本監査法人による期中監査（～22、本学）
17	保護者懇談会（～18、釧路・帯広）
23	保護者懇談会（旭川）
24	春学期卒業証書授与式 大学院前期学位授与式 パソコン応用講座（～12/17の毎週土曜日、本学）
10 2	保護者懇談会（苫小牧）
5	エクセレント講座（本学）
7	大学祭（～10、本学）
10	オープンキャンパス（本学）
15	保護者懇談会（～16、青森・函館）
16	大学院前期入学試験
22	保護者懇談会（北見）
11 2	エクセレント講座（本学）
21	エクセレント講座（～23、本学、かでの2・7）
27	推薦・特別入学試験（本学・青森）
12 4	推薦・特別入学試験（本学）
13	エクセレント講座（本学）
19	新日本監査法人による期中監査（～22、本学）
平成 18 年	
1 21	大学入試センター試験（～22）
2 3	一般入学試験（～6、本学・青森・仙台・東京・大阪）
12	大学院後期入学試験
3 20	大学院後期学位授与式
21	秋学期卒業証書授与式
23	第132回評議員会・第149・150回理事会(札幌グランドホテル)

4 学年暦

月 日	大 学・短 大		大 学 院
平成 17 年			
4 1	入学式 ガイダンスオリエンテーション（～7）	1	入学式
	8 春学期授業開始	7	オリエンテーション
5 2	開学記念日（振替休日）	8	春学期授業開始
6 10	文連祭・体育大会（～12）		
7 15	春学期授業終了	25	前期授業終了
	23 春学期定期試験（～29）	26	夏期休業
	30 夏期休業		
8			
9 24	春学期卒業証書授与式 秋学期授業開始	12	経済学研究科推薦入学試験
		16	後期授業開始
		24	前期学位授与式
10 7	大学祭（～10）	16	入学試験（前期）
11 27	推薦・特別入学試験 経済学部（指定校制）、外国語学部ロシア語 学科、経営学部経営学科、ビジネスコミュニケ ーション学科、法学部法学科、自治行政学科（公 募制）、文化学部日本語・日本文化学科、比較 文化学科、女子短期大学部		
12 4	推薦・特別入学試験 経済学部（公募制）、外国語学部英語学科、 経営学部経営学科、ビジネスコミュニケーショ ン、法学部法学科、自治行政学科（指定校制）	11	経営学研究科推薦入学試験
	19 冬期休業（～1/10）	20	冬期休業（～1/10）
		24	後期授業終了
1 21	大学入試センター試験（～22）		
	24 秋学期授業終了		
	25 秋学期定期試験（～2/21）		
2 3	一般入学試験 外国語学部英語学科、経営学部経営学科（学科目）	12	入学試験（後期）
	4 経済学部（小論文）、外国語学部ロシア語学科、経 営学部（総合選考）、女子短期大学部		
	5 経済学部（学科目）、文化学部比較文化学科		
	6 経営学部ビジネスコミュニケーション学科（学科 目）、法学部、文化学部日本語・日本文化学科		
3 20	秋学期卒業証書授与式	20	後期学位授与式
	31 年度終了	31	年度終了

5 就職関係事項

進路決定状況

ア 大学

(平成18年3月31日現在)

学部・学科		区分	卒業 者数	就職 希望者数	就職 決定者数	就職 決定率	非就職 者数	進路 決定者数	進路 決定率	前年度 進路決定率
経済	経済	男	272	231	193	83.5%	77	270	99.3%	99.7%
		女	48	35	27	77.1%	19	46	95.8%	97.6%
		計	320	266	220	82.7%	96	316	98.8%	99.5%
外国語	英語	男	29	17	11	64.7%	17	28	96.6%	97.4%
		女	66	50	44	88.0%	21	65	98.5%	100.0%
		計	95	67	55	82.1%	38	93	97.9%	99.1%
	ロシア語	男	22	16	12	75.0%	7	19	86.3%	95.2%
		女	20	14	12	85.7%	8	20	100.0%	100.0%
計	42	30	24	80.0%	15	39	92.9%	98.0%		
経営	経営	男	210	179	145	81.0%	65	210	100.0%	98.2%
		女	80	65	59	90.8%	20	79	98.8%	100.0%
		計	290	244	204	83.6%	85	289	99.7%	98.5%
	産業情報	男	79	61	54	88.5%	24	78	98.7%	98.4%
		女	23	17	13	76.5%	10	23	100.0%	92.9%
計	102	78	67	85.9%	34	101	99.0%	96.6%		
法	法	男	190	141	117	83.0%	80	181	95.3%	99.5%
		女	60	48	34	70.8%	26	60	100.0%	100.0%
		計	250	189	151	79.9%	90	241	96.4%	99.6%
文化	日本語・ 日本文化	男	57	31	20	64.5%	35	55	96.5%	95.8%
		女	64	44	32	72.7%	30	62	96.9%	98.3%
		計	121	75	52	69.3%	65	117	96.7%	97.2%
	比較文化	男	70	39	31	79.5%	38	69	98.6%	100.0%
		女	58	39	32	82.1%	23	55	94.8%	100.0%
計	128	78	63	80.8%	61	124	96.9%	100.0%		
合計		男	929	715	583	81.5%	327	910	98.0%	98.8%
		女	419	312	253	81.1%	157	410	97.9%	98.9%
		計	1,348	1,027	836	81.4%	484	1,320	97.9%	98.9%

イ 女子短期大学部

学科・専攻		区分	卒業 者数	就職 希望者数	就職 決定者数	就職 決定率	非就職 者数	進路 決定者数	進路 決定率	前年度 進路決定率
英文			71	41	36	87.8%	35	71	100.0%	100.0%
経営/経営管理専攻			38	24	21	87.5%	17	38	100.0%	100.0%
経営/秘書専攻			20	18	12	66.7%	8	20	100.0%	100.0%
合計			129	83	69	83.1%	60	129	100.0%	100.0%

ウ 大学・短大総計

区分		卒業 者数	就職 希望者数	就職 決定者数	就職 決定率	非就職 者数	進路 決定者数	進路 決定率	前年度 進路決定率
男子		929	715	583	81.5%	327	910	98.0%	98.8%
女子		548	395	322	81.5%	217	539	98.4%	99.3%
合計		1,477	1,110	905	81.5%	544	1,449	98.1%	99.0%

注1) : 就職希望者とは、a 就職が決定した者、b 就職を希望し、集計時(平成18年3月31日現在)においては受験準備等であるが、就職の意志のある者をいう。

注2) : 進路決定者とは、就職決定者に非就職者(進学・研究生・アルバイト・無職等)を加えたものをいう。

注3) : 進路決定率とは、進路決定者数を卒業者数で割ったものをいう。

6 課外活動関係事項

課外活動

ア 全国大会出場

・ 体育連合会所属団体

クラブ名	大会名	結果
野球部	第54回全日本大学野球選手権大会	2回戦敗退(ベスト16)
サッカー部	第85回天皇杯全日本サッカー選手権大会	2回戦敗退
	第54回全日本大学サッカー選手権大会	予選リーグ3位
男子バレーボール部	第58回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会	決勝トナメント2回戦敗退
女子バレーボール部	第52回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会	決勝トナメント2回戦敗退
男子バスケットボール部	男子第57回全日本学生バスケットボール選手権大会	1回戦敗退
女子バスケットボール部	女子第52回全日本学生バスケットボール選手権大会	1回戦敗退
卓球部	第75回全日本大学対抗卓球選手権大会	予選リーグ敗退他
陸上競技部	天皇賜杯第74回日本学生陸上競技対校選手権大会	決勝28位他
硬式庭球部	平成17年度全日本学生テニス選手権大会(男子73回)	2回戦敗退他
ソフトテニス部	第59回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス大会選手権大会	1回戦敗退
	第60回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会	2回戦敗退他
弓道部	第53回全日本学生弓道選手権大会	予選敗退
	第36回全日本学生弓道遠の選手権大会	決勝射詰敗退
ゴルフ部	第52回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権	失格
	第50回信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦	12位
剣道部	第39回全日本女子学生剣道選手権大会	1回戦敗退
柔道部	第54回全日本学生柔道優勝大会	1回戦敗退
	第7回全日本学生柔道体重別団体優勝大会	ベスト16
空手道部	第49回全日本学生空手道選手権大会並びに東西対抗戦	2回戦敗退他
陸上ホッケー部	第54回男子全日本学生ホッケー選手権大会	1回戦敗退
スケート部	第78回日本学生氷上競技選手権大会	2回戦敗退
少林寺拳法部	第39回少林寺拳法全日本学生大会	本選進出他
準硬式野球部	第57回全日本大学準硬式野球選手権大会	2回戦敗退
スキー部	第79回全日本学生スキー選手権大会	1位他

・ 外局所属団体大会結果

チャリディング部	JAPAN CUP 2005 チャリディング日本選手権大会	自由演技47位
	第17回全日本学生チャリディング選手権大会	

イ 全道大会・東日本大会出場

・ 体育連合会所属団体

クラブ名	大会名	結果
野球部	平成17年度札幌学生野球春季リーグ戦	1位
	平成17年度札幌学生野球秋季リーグ戦	4位
サッカー部	第23回知事杯全道サッカー選手権大会	1位
	北海道学生サッカーリーグ	1位
男子バレーボール部	第38回大滝杯北海道大学男・女バレーボールリーグ春季大会	1位
	第24回東日本大学バレーボール選手権大会	3回戦敗退
	湯田杯争奪北海道選抜バレーボール厚沢部大会	1位
	第32回原崎杯北海道大学男・女バレーボールリーグ秋季大会	2位
女子バレーボール部	第38回大滝杯北海道大学男・女バレーボールリーグ春季大会	2位
	第56回北海道大学男女バレーボール選手権大会	3位
	湯田杯争奪北海道選抜バレーボール厚沢部大会	3位
	第32回原崎杯北海道大学男・女バレーボール秋季大会	1位
	第22回北海道大学男・女バレーボール道央地区大会	1位
男子バスケットボール部	第55回北海道学生バスケットボール春季選手権大会	1位
	北海道道民バスケットボール大会	3位

	男子第57回北海道学生バスケットボール選手権大会 男子第57回全日本学生バスケットボール選手権大会北海道予選会	1位
	第60回北海道学生バスケットボール総合選手権大会	3位
女子バスケットボール部	第55回北海道学生バスケットボール春季選手権大会	1位
	女子第50回北海道学生バスケットボール選手権大会 女子第50回全日本学生バスケットボール選手権大会北海道予選会	1位
	平成17年度春季全道学生卓球選手権大会	1位他
卓球部	第75回全日本大学対抗卓球大会北海道予選兼 第37回会長杯争奪卓球選手権大会	1位他
	第72回全日本学生卓球選手権大会北海道予選	1位他
	第72回全日本学生卓球選手権大会北海道予選	1位他
	秋季全道学生卓球選手権大会	1位他
	第47回北海道学生バドミントン春季リーグ戦大会	2部リーグ2位
男子羽球部	第54回北海道学生バドミントン選手権大会	4回戦敗退他
	北海道学生バドミントン秋季リーグ戦大会	2部リーグ4位
	第52回北海道学生バドミントン会長杯争奪選手権大会	準決勝敗退他
女子羽球部	第47回北海道学生バドミントン春季リーグ戦大会	2部リーグ4位
	第47回北海道学生バドミントン秋季リーグ戦大会	2部リーグ5位
	第52回北海道学生バドミントン会長杯争奪戦選手権大会	1回戦敗退
陸上競技部	第57回北海道学生陸上競技対校選手権大会	1位他
	北海道陸上競技選手権大会	準決勝3組4位他
	第70回札幌陸上競技選手権大会	2位他
	北海道学生陸上競技選手権大会	1位他
硬式庭球部	全日本学生テニス選手権大会 北海道地区予選 北海道学生テニストーナメント大会	1位他
	全日本大学対抗テニス王座決定試合北海道地区予選	2位
	北海道学生テニス選手権大会	ベスト4他
	北海道学生テニス新進戦	2位他
	北海道学生選抜室内テニス選手権大会	2位他
ソフトテニス部	平成17年度春季全道学生ソフトテニス大会	2部2位他
	平成17年度全道学生ソフトテニス大会	ベスト32他
	第37回全道学生ソフトテニス大会	準優勝他
	第37回秋季全道学生大学対抗リーグ戦	1部5位他
	第57回秋季全道学生ソフトテニス選手権	3回戦敗退他
	平成17年度北海道学生ソフトテニス新人大会	ベスト4他
アメリカン・フットボール部	北海道学生アメリカンフットボール選手権大会	2部3位
弓道部	第58回北海道弓道大会	決勝射詰敗退
	札幌近郊大学女子対抗戦	団体6位
	全道学生弓道選手権大会	予選敗退
	第51回全道学生弓道争覇戦(部リーグ)	4位
	第51回全道学生弓道争覇戦	4位
ゴルフ部	Aブロック対抗北海道ゴルフ選手権	1位
	豊富杯争奪北海道学生選手権	2位
	北海道新聞社争奪学生マッチプレー選手権	2位
剣道部	第51回北海道学生剣道選手権大会	3位
	第60回国民体育大会剣道競技選手選考会	ベスト8他
	西部北海道大会	2位
	北海道学生剣道優勝大会	1回戦敗退
	第43回北海道学生剣道新人戦	1位他
柔道部	平成17年度北海道学生柔道優勝大会	2位
	北海道学生柔道体重別団体優勝大会	2位
ヨット部	2005年度地区インカレ	15位
空手道部	第41回東日本大学空手道選手権大会	3回戦敗退他
	空手道選手権大会	1位他
	国体札幌地区予選	3回戦敗退他
	第38回北海道学生空手道選手権大会団体戦	1位他
	第36回北海道学生空手道選手権大会新人戦	2位他
	男子第36回・女子第12回北海道学生ホッケー春季大会	男子2位 女子1位
陸上ホッケー部	第24回全日本大学ホッケー王座決定戦北海道・東北・北信越代表予選会	女子2位
	第46回会長杯ホッケー大会	男子1位 女子1回戦敗退
	第4回東日本学生ホッケー選手権	男子2回戦敗退
	第1回北海道学生アイスホッケー選手権大会	2位
スケート部	第46回札幌市民大会アイスホッケー競技会	3位

	2005東北・北海道フィギュアスケート選手権大会	総合5位
	第31回東日本フィギュアスケート選手権大会	11位
	第78回日本学生氷上競技選手権大会北海道予選大会	2位
	第1回北海道・東北学生交流戦	
	全道高体連兼国体予選会	総合1位
ボクシング部	第32回全道大学ボクシング選手権大会(2部)	1位他
	第46回全札幌市民体育大会ボクシング競技会	1位他
ラグビー部	第35回北海道ラグビーフットボール選手権大会	3位
	第34回北海道地区大学ラグビーフットボール選手権大会	3位
少林寺拳法部	第36回少林寺拳法北海道学生大会	本選進出他
	第26回少林寺拳法北海道大会	最優秀賞他
	第16回少林寺拳法市民大会	最優秀賞他
	第34回北海道学生新人大会	優良賞他
準硬式野球部	北海道地区大学準硬式野球一部リーグ選手権	優勝
ハンドボール部	第32回北海道学生ハンドボール春季リーグ戦大会	3位
	第27回東日本学生ハンドボール選手権大会	4位
	第37回北海道学生ハンドボール秋季リーグ戦	3位
軟式野球部	第12回春季リーグ戦大会	3位
	第12回北海道地区新人戦大会	3位
	第12回秋季リーグ戦大会	3位

・ 外局所属団体大会結果

チアリーディング部	第16回 北海道チアリーディング選手権大会	自由演技大学の部3位 規定演技大学の部2位
吹奏楽団	第50回全日本吹奏楽コンクール北海道予選札幌地区大会	金賞
	第42回北海道管楽器個人コンクール	金賞

ウ 文化連合会所属団体参加行事

写真部	学外写真展(12月)
演劇研究会劇団ダイナマイト	公演会(6月)
放送文化研究会	ラジオ放送(5月・12月)
軽音楽部	学外ライブ(9月)定期演奏会(12月)
民俗音楽研究部	"ライブ演奏会(5月・6月・9月・10月)
定期演奏会(12月)"	
ファニーカンパニー	学外ライブ(11月)自主コンサート(12月)
書道部	創玄展(1月)北海道展(3月)
美術部	十字館展(12月)美術部展(2月)
アマチュア無線部	A L L J Aコンテスト(6月)
自然保護研究会	植林活動(5月)ラブアース・グリーンアップ in 北海道2005(6月) チャリティ・イブコンサート(11月)
アピーロード	オリジナルパントのライブ活動(4月~3月) 定期演奏会/学外ライブ(12月)
ジャズ研究会	定期演奏会(12月)
E・S・S	札幌大学学長杯全道学生英語弁論大会(9月) Winter Discussion(12月)
東洋哲学研究会	水曜会(11月~12月)
将棋部	秋期大会(11月)道新杯(1月)
ユニセフネットワーク	ユニセフ ハンド イン ハンド(12月)

学生行事

第38回札幌大学大学祭

テーマ : 華美 ~はなび~

期間 : 平成17年10月7日(金)~9日(日)

第30回札幌大学文連祭

テーマ : えん

期間 : 平成17年6月10日(金)~12日(日)

第52回札幌大学体育大会

種目 : ソフトボール、バスケットボール、バドミントン、
フットサル

期間 : 平成17年6月10日(金)~12日(日)

7 奨学金関係事項

学業成績が優れ、かつ勉学の意欲を持ちながら経済的理由により修学が困難な学生のための制度として、札幌大学奨学金、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体奨学金及び民間育英団体奨学金がある。

札幌大学奨学生制度

勉学意欲にあふれ、人物、健康ともに優れている学生に対して給付又は貸与する本学独自の奨学制度である。

種 類	第 1 種	第 2 種
		人物及び学業成績が特に優秀な者
金 額	(給付) 当該年度授業料相当額	(給付) 月額 30,000 円
採 用 人 数	大学各学部各学年 1 人・短大各学年 1 人	大学各学部各学年 2 人・短大各学年 3 人
採 用 期 間	1 年間	1 年間
出 願 時 期	4 月中旬・公募	4 月中旬・公募(家計状況の制限あり)
選 考 方 法	(1 年生) 筆記試験及び面接を行い学部別成績上位順に選考する (2～4 年次生) 学業成績が基準を満たしている者の中から前年度学部別成績上位順に選考し面接により最終的に決定	(1 年生) 筆記試験及び面接を行い学部別成績上位順に家計状況を勘案のうえ選考する (2～4 年次生) 学業成績が基準を満たしている者の中から前年度学部別成績上位順に選考し面接により最終的に決定
返 還 義 務	無	無

種 類	第 3 種	第 4 種
		経済的援助が特に必要で、人物及び学業成績が優秀な者
金 額	(貸与) 月額 40,000 円	(貸与)当該年度学費等納付金相当額以内
採 用 人 数	大学 1 年生 18 人・短大 1 年生 3 人 大学 2 年～4 年・短大 2 年(欠員補充)	
採 用 期 間	最短修業年限の範囲内	在学期間内
出 願 時 期	4 月中旬・公募	4 月中旬・公募(家計状況の制限あり)
選 考 方 法	学業成績、家計状況の基準を満たしている者の中から算定評価の低い順に選考する	入学後、主たる家計支持者の死亡、失職又は火災、天災等により家計が急変し、修学経費の支弁に支障が生じたときに出願できる
返 還 義 務	有(1 年間の貸与につき 3 年間以内)	有(1 年間の貸与につき 4 年間以内)

日本学生支援機構奨学生制度

日本学生支援機構は、国の育英奨学事業を行っている機関で、奨学金には無利子貸与(第一種)と有利子貸与(第二種)の2種類がある。

種 類	第一種
	無利子貸与
金 額	2005年度 貸与月額(1年次生) (大学) 自宅通学者 54,000円・自宅外通学者 64,000円 (短大) 自宅通学者 53,000円・自宅外通学者 60,000円
採 用 人 数	2005年度 1年次生(1次)採用数 大学 71人・短大 6人 (採用候補者を除く)
採 用 期 間	最短修業年限
出願時期・資格	4月中旬・公募
選 考 方 法	人物、健康、学業成績、家計状況の基準を満たしている者の中から 算定評価の低い順に選考する
返 還 義 務	有 (各自の借用金額に応じ返還年数を決定する)

種 類	第二種
	有利子貸与(年3%以内)
金 額	(月額 30,000円・50,000円・80,000円・100,000円の中から選択)
採 用 人 数	2005年度 1年次生(1次)採用数 大学 214人・短大 15人(採用候補者を除く)
採 用 期 間	最短修業年限
出願時期・資格	4月中旬・公募
選 考 方 法	人物、健康、学業成績、家計状況の基準を満たしている者の中から 算定評価の低い順に選考する
返 還 義 務	有 (年3%以内利息付) (各自の借用金額に応じ返還年数を決定する)

札幌大学提携教育ローン利子補給奨学金

平成15年度から、新たな奨学金として、本学に入学又は在学する学生の家計支持者又は本人が、本学と提携する教育ローンの融資を受けるにあたり、その利子の一部を奨学金として給付する「札幌大学提携教育ローン利子補給奨学金」を実施している。

8 公開講座関係事項

< 札幌大学公開講座 >

札幌大学公開講座は、大学の基本方針に基づき「地域に開かれた大学」を目指し、研究教育上の成果を広く地域住民に還元することを目的に、昭和 55 年以来多彩な講座を展開してきた。

平成 17 年度は「いのち長き時代のプラン - 老いを知り、老いを楽しむ -」をテーマとした。

これは、平成 16 年度に実施した「高齢社会 - いのち長き時代のプラン -」が非常に好評であったこと、また今や長寿世界一と言われる日本において、今後益々高齢化が進み老後の生活が最重要視されている。同時に福祉問題、医療問題、余暇の過ごし方等の諸問題が発生し解決しなければならない問題が山積している。この講座を通して、高齢者の現状を把握し、また、諸問題の解決を図ることにより老後の生活において生き甲斐を見つけ、更にいきいきと生活していくためのヒントとなる講座とした。

平成 17 年度のパソコン講座は、平成 16 年度と同様、情報メディアセンターが主体となり全学生が受講できるオープン形式の「情報リテラシー教育」の授業内容と同じものを受講者に提供した。

第 1 期は「パソコン基礎講座」で初心者を対象とし、第 2 期は「パソコン応用講座」で中級者を対象として各 12 回土曜日に実施した。第 1 期及び第 2 期ともに受講者が熱心参加してくれた。

また、平成 14 年度まで文化学部主体で実施していた「国際文化フォーラム」の後を受けて、札幌時計台 2 階ホールで「札幌大学時計台フォーラム」として 4 講座を実施した。

(1) 公開講座 平成 17 年度 (通算第 26 回)

講座内容：『いのち長き時代のプラン - 老いを知り、老いを楽しむ -』

後援：札幌市教育委員会

開催期間：平成 17 年 9 月 21 日 (水) ~ 10 月 5 日 (水)

受講申込者数：198 人 (男性 123 人、女性 75 人)

< 講座日程等 >

	期日	講師	演題	受講者数
第 1 講	9/21(水)	札幌大学女子短期大学部 教授 眞瀬 勝 康	「高齢化時代を豊かに暮らす法」 資産運用の落とし穴	164
第 2 講	9/26(月)	サンシャイン総合学園 専任講師 茶 木 律 子	「住み慣れた地域で自分らしく生きる」	149
第 3 講	9/28(水)	札幌大学経済学部 教授 網 島 不二雄	「輝け！ハイエイジ・ボランティア」 - 高齢者こそボランティアの主演 -	130
第 4 講	9/30(金)	札幌大学 学長 宮 腰 昭 男	「高齢者地域医療」 - 札幌を中心として -	141
第 5 講	10/3(月)	札幌大学法学部 教授 田 原 宏 人	「メディアの教育イメージ」	141
第 6 講	10/5(水)	札幌大学経済学部 教授 佐 藤 俊 二	「年金で介護生活費を賄えるか」 - 社会保障改革のなかの介護生活費問題 -	142

道民カレッジ連携講座の“環境生活コース 12 単位”に認定された。

(2) 札幌大学パソコン講座

< 第 1 期 パソコン基礎講座 >

後 援：札幌市教育委員会

実施期間：平成 17 年 4 月 16 日（土）～ 7 月 9 日（土） 全 12 回

定 員：48 人

受講申込者数：87 人（男性：32 人 女性：55 人）

講座内容：

【 1、 パソコンの基礎知識】

本実習の流れを説明し、コンピュータの起動、パスワード変更、Windows の基本操作を学習する。

【 2、 文字の入力】

いろいろな文字を入力し、変換する方法を学習する（日本語入力には IME2002 を用いる）。読めない漢字の入力法や、辞書への単語登録の方法についても学習する。

練習ソフト（TypeQuick）を用い、英文字のブラインドタッチの練習を行う。この能力を身に付けるか否かが実習の進度を左右するため、空き時間に自学実習する事を推奨する。

【 3、 ネットワークの利用】

ネットワークとスタンドアロンの概念、LAN の概念を学習。札幌大学のネットワークについて学習。

【 4、 インターネットの利用】

インターネットの仕組みを学習した後に、ホームページを閲覧する手法を学ぶ。検索エンジンなど閲覧のための便利な機能についても学習する。

【 5、 情報倫理】

サイバースペースにおける作法とも言える「ネチケット」を学習する。ウィルス及びウィルスワクチンソフトの概念、不正アクセスの対策、法律を学習する。自学自習用教材（Net Tutor (Infoss)）の基本操作を学習する。

【 6、 電子メールの利用】

電子メールソフト ActiveMail の設定および操作（送信・受信・返信・アドレス帳設定・ファイル添付 etc.）を行う。

【 7、 Word の基本操作】

ワープロソフトとして Word2002 を用い、Word の起動、終了。コマンドを操作する。ファイルの基本操作。簡単な文書を作成する。

【 8、 文書の作成 (Word)】

文書の編集。文字を揃える。文字を装飾する。文書を印刷する。

【 9、 表の作成 (Word)】

表を作成する。表の構造を変更する。セルを結合 / 分割する。表に書式を設定する。

【 10、 Excel の基本操作】

表計算ソフトとして Excel2002 を用い、Excel の起動、終了。コマンドを操作する。ファイルの基本操作。データを並べ替える入力する。

【11、表の作成(Excel)】

オートフィルを使う。関数を入力する。罫線を引く。表に書式を設定する。

【12、表の編集(Excel)】

セルの参照。便利な機能を活用する。効率的にデータを入力する。表を印刷する。

< 受講状況 >

月 日	受講者数	受講者(男・女)	月 日	受講者数	受講者(男・女)
4/16	46	(19・27)	4/23	44	(19・25)
4/30	44	(18・26)	5/7	45	(19・26)
5/14	42	(17・25)	5/21	42	(17・25)
5/28	41	(16・25)	6/4	44	(19・25)
6/18	45	(19・26)	6/25	43	(16・27)
7/2	44	(17・27)	7/9	45	(18・27)

道民カレッジ連携講座の“能力開発コース18単位”に認定された。

< 第2期 パソコン応用講座 >

後 援：札幌市教育委員会

実施期間：平成17年9月24日(土)～12月17日(土) 全12回

定 員：48人

受講申込者数：218人(男性：95人 女性：123人)

講座内容：

【1、文書の編集1(Word)】

さまざまな書式を設定する。拡張書式を設定する。書式をスタイルに登録する。ヘッダーとフッターを作成する。

【2、表現力をアップする機能(Word)】

クリップアートを挿入する。ワードアートを挿入する。ページ罫線を設定する。

【3、図形描画機能の活用(Word)】

オートシェイプを使って図形を作成する。複数の図形を組み合わせる。テキストボックスを作成する。図を挿入する。

【4、グラフの作成(Excel)】

グラフを作成する。グラフを編集する。グラフの種類を変更する。円グラフを作成する。

【5、グラフ機能(Excel)】

複合グラフを作成する。グラフを編集する。補助円グラフ付き円グラフを作成する。

【6、ワークシートの連携(Excel)】

複数のシートを操作する。シート間で集計する。シートをリンクする。シートを挿入・削除する。

【7、 データベースの利用(Excel)】

データベース機能の概要。データを並べ替える。フィルタで抽出する。複雑な条件の設定。

【8、 表計算機能(Excel)(1)】

基本的な関数の利用。入力規則を設定する。反復練習による関数の修得。

【9、 表計算機能(Excel)(2)】

条件付き書式を設定する。ピボットテーブル。Excel の総合問題。

【10、プレゼンテーションの作成(PowerPoint)】

新しいプレゼンテーションを作成する。スライドショーを実行する。

【11、図やオブジェクトの挿入と編集(PowerPoint)】

クリップアート、画像ファイル、Excel の挿入。

【12、特殊効果とスライドのデザイン設定(PowerPoint)】

画像切り替え効果。アニメーション効果。スライドマスタの作成・編集。ヘッダー・フッターの挿入。

< 受講状況 >

月 日	受講者数	受講者(男・女)	月 日	受講者数	受講者(男・女)
9/24	46	(24・22)	10/1	43	(20・23)
10/15	44	(24・20)	10/22	42	(23・19)
10/29	43	(21・22)	11/5	43	(20・23)
11/12	43	(25・18)	11/19	35	(20・15)
11/26	42	(22・20)	12/3	40	(22・18)
12/10	42	(21・21)	12/17	42	(22・20)

道民カレッジ連携講座の“能力開発コース18単位”に認定された。

(3) 札幌大学時計台フォーラム 平成17年度

会 場：札幌時計台 2階ホール(中央区北1条西2丁目)

実施期間：平成17年6月8日(水)～7月27日(水)

定 員：120人

受講申込者数：336人

<フォーラム日程等>

	日 程	講 師	演 題	受講者
第 1 回	6/8(水)	学校法人札幌大学 理事長 堀 達 也	道政を振り返って 私のやりたかったこと	118
第 2 回	6/22(水)	札幌大学経済学部 教 授 飯 田 隆 雄	札幌マチ興しと住民参加	93
第 3 回	7/13(水)	札幌大学経済学部 助教授 鈴 木 聡 士	札幌の交通マナーを考える 地下鉄での携帯電話利用実態	65
第 4 回	7/27(水)	北海道武蔵女子短期大学 学 長 小 林 好 宏 (元札幌大学経営学部教授)	札幌の都心はどうなる	62

道民カレッジ連携講座の“ほっかいどう学コース6単位”に認定された。

< 地方公開講座 >

地方公開講座は、「道内市町村の教育委員会等が、住民の社会教育・生涯学習を推進するために計画した公開講座」に対して、当該教育委員会及び団体等からの要請に基づき、本学が講師派遣協力を行うものである。

本学が道内の生涯学習活動へ積極的に貢献するために2002年から発行している「札幌大学公開講座講師ガイドブック」2005年版(収録人数76人：136タイトル)を4月に発行し道内教育委員会への発送を終えた。平成17年度は4市町村7回の講座を実施した。

1 千歳市教育委員会

事業名：千歳高星大学・市民教養セミナー

実施日：平成17年6月2日(木)～9月8日(木) 10：30～12：00

会 場：千歳市民ギャラリー

講 師	講 演 内 容	受講者(男・女)
教 授 岩 崎 徹 (経済学部)	日本人の食生活は豊かですか	55人 (20・35)
教 授 越 野 武 (文化学部)	旅と人生	57人 (21・36)
教 授 小 山 修 (経営学部)	スウェーデン人の考え方と働き方 -暮らしと福祉-	59人 (22・37)
助教授 能 登 洋 子 (女子短期大学部)	男女共生社会をめざして -性の特徴と男女平等-	50人 (20・30)

2 由仁町教育委員会

事業名：由仁町高齢者教養講座『ユニカレッジ』

実施日：平成 17 年 7 月 8 日(金) 10:00～12:00

会 場：由仁町文化交流会館

講 師	講 演 内 容	受講者(男・女)
教 授 眞 瀬 勝 康 (女子短期大学部)	高齢者の資産運用	19人 (4・15)

3 夕張市教育委員会

事業名：女性ライフセミナー（夕張市公民館講座）

実施日：平成 17 年 7 月 25 日(月) 18:30～20:30

会 場：夕張市清水沢地区公民館

講 師	講 演 内 容	受講者(男・女)
教 授 酒 井 春 樹 (経営学部)	人間関係の発達と変容	20人 (1・19)

4 興部町教育委員会

事業名：興部長寿大学

実施日：平成 18 年 1 月 27 日(金) 10:00～12:00

会 場：興部町総合センター

講 師	講 演 内 容	受講者(男・女)
教 授 遠 田 晤 良 (文化学部)	源氏物語入門	27人 (7・20)

< エクセレント講座 >

エクセレント講座は、学校法人札幌大学が主催する講演会・シンポジウムであり、経済、社会、文化など各分野で顕著な活躍をされている方々を招へいし、その卓越した理念や豊富な経験等を本学学生及び地域社会の人々に語ってもらうことを通して、大学の教育研究の活性化に資するとともに、学校法人札幌大学のイメージアップを図るものであり、全4講座を実施した。

第1回

実施日：平成 17 年 10 月 5 日(水) 10:40～12:10

会 場：本学講堂

講 師	講 演 内 容	受講者
東日本旅客鉄道株式会社 取締役会長 松田昌士	どうする北海道 ～札幌大学の役割～	600人

第2回

実施日：平成17年11月2日(水) 14:40~17:50

会場：本学3001教室

講師	講演内容	受講者
パリ・リボン大学 総長 ジャン・ロベール・ピット ホテル・クビ・サポロ 料理長 貫田 桂一 はまなす財団 常務理事 山崎 一彦	北海道の食と観光を考える ~ 美味しい北海道の売り方 ~	350人

第3回

実施日：平成17年11月21日(月)~23日(水) 13:00~16:10

会場：本学図書館、かでの2・7

講師	講演内容	受講者
作家 井上 ひさし	『作文教室』	180人
	『講演会』 「日本語の力をつけることの大切さを考える」	530人

第4回

実施日：平成17年12月13日(火) 13:00~15:30

会場：本学講堂及びリンデンホール

講師	講演内容	受講者
元日本コカ・コーラ社 副社長 山根 一城	危機管理とビジネスコミュニケーション ~ 飲料マーケットの危機を乗り越えて ~	400人

< 公開講座講演集 >

公開講座の講演記録は、講座開設時の昭和 55 年から記録集としてとりまとめているが、平成 7 年度からは刊行物の体裁で発刊し、平成 11 年度には名称を札幌大学公開講座講演集と改め、道内各教育委員会及び受講者等に送付している。受講者からは、復習本として役立っている旨の声も寄せられている。

また、本学で開催する保護者懇談会でも配布をし、保護者の方も参加を勧めるものである。

この講演集は、札幌大学の社会的評価を高めるための、有効な手段としても大きな役割を果たしている。

なお、平成 17 年度の講演集刊行については次のとおりである。

表 題	平成 17 年度 札幌大学公開講座講演集(第 26 回) 「いのち長き時代のプラン - 老いを知り、老いを楽しむ - 」
内 容	A5 版 206 頁
印刷部数	800 部
発 行 日	平成 18 年 3 月 30 日
配 布 先	道内教育委員会 (180 件) 公開講座受講者 (198 件) 札幌市立図書館 (10 部) 朝日カルチャーセンター札幌 (10 部) 本学教員 保護者懇談会出席者